

説明文のポイント 話題・要点を読み取る

名前

学習日

月
日

今回は、説明文の話題・要点の読み取り方を学習します。話題とは、文章の中心となることからのことです。つまり、文章につける「題名」とでもいえるものを話題といいます。話題は、次の方法で読み取ることができます。

〈説明文の話題の読み取り方〉

- (1) 文章の最初の方に話題がしめされている場合が多いので、はじめの部分をとくに注意して読む。
- (2) 何回もくり返し出てくる言葉から話題を読み取る。
- (3) 問いかけの形で話題をしめしている部分から読み取る。
- (4) 話題について直接書かれている部分から読み取る。

要点とは、文章の中の重要な点という意味です。要点を読み取るためには、まずは文章の話題をつかむことが大切です。そして、それぞれの段落の中心文（段落の中心となる内容をはっきりと示している文）をさがすようにしましょう。中心文は、その段落に何回も出てくる重要な言葉をふくんでいたり、「だから・つまり・したがって」や「このように」などの言葉で始められていたりすることがあります。ま

た、段落の最初や最後にまとめられている文が中心文となっている場合もあります。

〈説明文の要点の読み取り方〉

- (1) 文章の話題をとらえる。
- (2) それぞれの段落の中心文を読み取る。

それでは、次の文章の話題と要点を考えてみましょう。

カメレオンは、まわりのかんきように合わせて体の色をかえる動物です。カメレオンは緑色になったり、黒っぽい色になったりします。

カメレオンが体の色をかえるのはどうしてなのでしょう。まわりの色と体の色が同じだと、他の動物から見つけられにくくなります。つまり、カメレオンはできか身を守るために、体の色をかえているのです。

何回も出てくる「カメレオン」がこの文章の話題だね。中心文は——の文なので、要点は「カメレオンが体の色をかえるのは、できか身を守るためである。」となるよ。



← 次のプリントにつづく

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① セミは、幼虫ようちゅうの間の数年間を地中ですごします。成虫ちゅうちゅうになってからは、一週間から一か月ほどを地上ですごします。この間、セミは鳴き声をあげて活動します。そこで、夏になると、近くの林や公園から「ミーンミーン」と鳴くセミの音が聞こえてきます。

5

② 日本人は、セミの声を聞くと、夏が来たなあとしみじみしみと感かんじます。セミの声は夏らしさを表あらわすもので、「閑しずかさや 岩いしにしみ入る 蟬せみの声」という有名ゆうめいなはいくもあります。つまり、セミの声というものは、昔むかしも今も日本人になじみのあるもので、セミの声をこのまじい音として聞いているのです。

10

③ では、セミの声になじみのない外国からの旅行者りょこうしゃには、「ミーンミーン」という鳴き声はどのように聞こえているのでしょうか。夏に日本に来た旅行者は、大音だいにんりょう量で鳴くセミの声のうるささにおどろき、そうぞうしいいな音だと思おもうそうです。

15

④ 「ミーンミーン」というセミの鳴き声について、人によっていやな音にもこのまじい音にも聞こえるのですね。このように、耳に聞こえる音は同じでも、その音になじみがあるかないかによって感じ方がちがうのです。

20

1 この文章の話題は何ですか。文中から四字で書きぬきましよう。

2 それぞれの段落の中心文はどれですか。上の問題文に――を引きましょう。

3 この文章の要点をまとめた次の文の□にあてはまる言葉を文中から書きぬきましよう。

セミの鳴き声を、日本人は

音

として聞き、外国からの旅行者は

音とし

て聞く。つまり、その音に

があるかない

かによって

がちがうのである。

これがポイント！

それぞれの段落の要点は、中心文を見つけてとらえるようにしよう！



Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう！



くわしくはこちら！

Z会の本



かわいい小学生になろう